

# 林惱煩透

順正寺報  
2019年11月

## 報恩講法要

リニューアル

十一月十日(日)

午前十一時三十分

より

法話 さとるの部屋(ケアマ  
ネジャー)、中沢朋江さんとの  
対談)

おとぎ

衆僧供養読経

\* 今回の法要より日程を大きく変更致します。上記の通り午前十一時半スタートで最初に法話、続いて皆さん一緒におとぎ(お昼ごはん)それから読経となります。

報恩講は年内最後の法要です

宗祖親鸞聖人のご命日をご縁として

ほとけと成られた故人に

今年一年を報告し、見護って下さった事に、また尊い仏縁を下さっている事に感謝する

法要です

どうか万象繰り合わせのうえご参詣下さい

「さとるの部屋」開催！

毎朝のように石神井公園で写真を撮っています。が、全く同じ風景などあるはずがないのだけれど、同じ風景にしか見えなくなってきました。同じ写真なんて撮れるわけがないのですが、すべて同じに見えてしまいます。まあ、だからこそ、なにかフと目についたときに、その発見に喜べるのでしようが。日々の生活でも、なんだか当たり前前を過ぎてしまえば、当たり前前にいまを生き返ってしまっているようです。

私のいまは、ここにしかないのだと理屈はこねくり回しますが、現実には「いまここ」を見ているのではなく、昨日と明日をボンヤリ俯瞰（ふかん）し、大事な「いま」を見過ごし、流れの中で空しく過ぎ去っているようです（こうして打ち込んである文章自体が、なんか、そんな感じもします）。「人間の一番の問題は（空しい）ということだ」と言っていた先生がいましたが、なんかわかるような気がします。

「一日として同じだと思ふ景色はないんです。必ず何か新発見みたいなのがある。小さなことでもね。ほんとに驚くばかりです」

詩人のまど・みちおさんの100歳の時の言葉です。こんなふうに思えて日々を過ごせたら、いまをいただけたら、どんなにか充実した「わたし」であれるのだろうか、と、思うのですが、なかなかそうはいきません。

で、「さとるの部屋」ですが、さとるといのはわたし（副住職）の名前で、なぜこれをやるのかとなったかといえますと、先日、「グリーンフェアの会 微妙音」（毎月5日絶賛開催中！）に練馬区で活躍中のケアマネージャーの中沢さんが参加なさってくださいったのがきっかけです。その際、仕事・別れ・生活の中でのご自身の喜びや悲しみや悔しさや悩みを熱心にお話くださいました。本当に、いまを大切に、ここを大事に生きておられるな、と、正直、驚きというか、圧倒されました。そして、会の後、住職と「中沢さんに、是非、皆さんの前でお話していただきたい」ということで合意し、依頼。快くお引き受けいただき、今回の報恩講でわたしと対談形式でトークショーをやることになったのです。ケアマネージャーというお仕事を通して見えてくる悲しみ・悩み・喜び、それを大事にいまを生きている中沢さんのお話を是非お聞きください。副住職 さとる

秋だというのにまだ暑い日があるし庭の花は狂い咲き今までにない猛烈な台風は直撃するしで何か凄いことになっています。被害に遭われた皆様、お見舞い申し上げます。

と、云う訳で当山順正寺も時代の激流に翻弄され沈没しかかったり何とか転覆を免れたりを繰り返しています。

まあ、先代からずっとそんな感じではあったけど。そうなるかと馬鹿は俄然気合が入ります。二日、三日はもう駄目だと落ち込んでしまいましたがそんな時ふと父の顔が思い浮かび「まだ大丈夫だよ」という声が聞こえ「うっしや、気合入れていくぞ」と足が前に出ます。

ただ問題は、出た足の方向。私の場合父のようにクレバーではない事です。気合を入れて思いつくのが何か突拍子もない事でそれが今後どうなるか全くもって分からない計画性の無さ。思い付きと行き当たりばったり人生がさらに加速し磨きがかかった今日この頃。

しかしそんな大馬鹿者でも呆れつつ憐れんで援けてくれる人は居るもんで妻の博美をはじめ、副住職、従妹の勇介くん、その友達のアシカガくん、ご門徒のシンドさん、ホントに奇特な人たちです。

で何を血迷っているかと言えば、ウェブとかインターネットとかです。友達はそろそろ定年退職だと言っているが私はこ

れからデビューするのだ。まずはYouTube「順正寺TV」、Podcast「順正寺ラヂオ」あと、インターネット配信による「動画でご法事」。もうやっているが4人しかフォロワーがないインスタ。で、ブログの開設を着々と進めています。お寺を使ったイベントや遊びも企画進行中。先日の「こころとからだのワークショップ。ことばのうみ」もご参加の皆様にとっても喜んでいただき次回開催を望まれて、鋭意準備中です。特に博美担当のヨガと副住職担当の声のお稽古はそれだけ別枠で開催しても良いくらいの面白さでした。

そんなことが潰れかけたお寺の役に立つのか立たないのか全くもって不明です。まともな会社の皆様なら赤字垂れ流しのこんな計画性の無さは許されないのでしょうが、大馬鹿者は「まだ、俺がやれること」「おもしろいこと」それだけを原点に爆走するわけです。変な仏像、お仏壇制作、楽器を取り入れた癒される読経、お話「親鸞異聞」も同時進行中。ただ問題なのは「私は飽きっぽい」勢いは有るが継続の能力は皆無なのです。

20年以上続く婦人会も聞法会もひとえにご参加下さる皆様のお力です。ですので、今後順正寺が存続するか沈没するかそれはひとえに皆様のお力によります

よっ！日本一の無責任男！

合掌 住職

本文にも書いたが「こころとからだのワークショップ」が自分で想像していたより面白かった。椅子に座つてもできるヨガは体の堅い私でも出来あつという間に小一時間、呼吸も深く吸うことが少し身に付きうっすら汗をかいて体が温まつたところで滑舌と発声の練習をすると声も出しやすい。

我ながら素晴らしいカリキュラムを組んだと自画自賛。ホントは博美にも副住職にも時間これくらいでよろしくとしか言つてない。いい加減さ全開さ。

でホントはメインの朗読。佐野洋子さんの「百万回生きたねこ」を最初はみんなで一緒に、最後は一人ずつ朗読してもらいました。皆さんを舐めてました。ごめんなさい。人前で読むの初めてだろうなんて勝手に考え「まあ、いろいろ指導してやるか」なんて思っていたが、あにはからんや、皆さんとつてもお上手。そのまま読み聞かせの会出来そうなくらい。普段縮こまっている体の筋を伸ばし、大声で笑い、声を出して本を読む。とても楽しい非日常の体験でした。

### 住職からのお願い

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。その為ご法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることがあります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとって一生の一大事です。そこは相身互い、どうかご寛恕下さいますようお願い致します

定例行事 いずれもご自由にご参加下さい

**聞法会** 毎月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会を  
つています（1月、8月はお休み）

**歎異抄を読み聞く会「微妙音」** 毎月5日午後2時

十一月はお休みします

**白色白光の会（婦人会）** 毎月第2木曜午後1時

お経（正信偈）の練習と法話と茶話会

**「照久会」浄土真宗初めて講座** 二月、四月、六月、十

二月の第2土曜午後2時より5時まで（参加費 2千

照久会会員は千円）講師 聞成寺住職 佐竹貫裕師

**仏像なぞり書き「仏像描くぞう」**

第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から

参加費三百円（初回のみ別途テキスト代千円）

照久山浄土寺

練馬区石神井町3-17-4

03-3996-2064